

MITSUBISHI 三菱パイプ用ファン

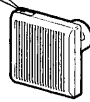
居室用/トイレ・洗面所用

取付工事説明書

工事店さま用

形名によって取付工事が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事に依頼してください。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、銅板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合、雨水侵入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

居室用	形名	グリル形状	電源仕様
居室用	V-08PSV4/V-08PPV4/V-12PPVS4(風圧式シャッター付)	角形パンチングパネル	電源プラグ
	V-08PSVD4/V-08PPVD4/V-12PPVSD4(風圧式シャッター付)		速結端子
	V-08ZSX4, (-BE)	角形フラットパネル	電源プラグ
	V-08ZSXD4		速結端子
洗面・トイレ	V-08ZSYD4	角形タテ格子グリル	速結端子

警告

- 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の遮音物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう取付ける
漏電・発火の原因
- 分解・改造はしない
火災・感電・けがの原因

お願い

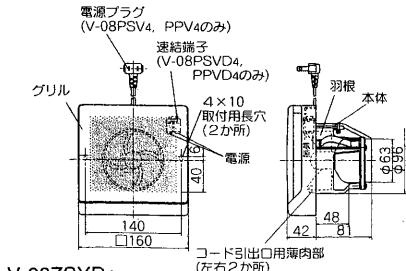
- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。
故障の原因
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。
振動の原因
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。
壁厚により取付けられないものがあります。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

注意

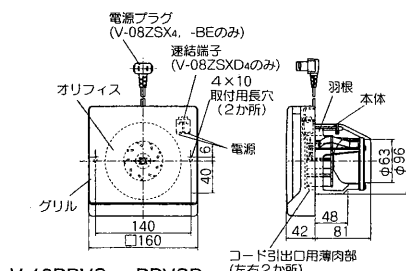
- 直接炎のある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない
火災の原因
- 浴室など湿気が多い場所には取付けない
感電および故障の原因
- 本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によるけがの原因
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
- 電気工事は必ず電気工事に依頼する
感電の原因
- 取付けの際は手袋を着用する
けがの原因
- 部品の取付けは確実に行う
落下によるけがの原因

各部のなまえと外形寸法図

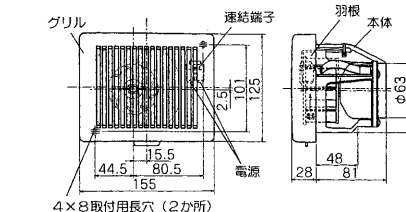
V-08PSV4, PSVD4, PPV4, PPVD4



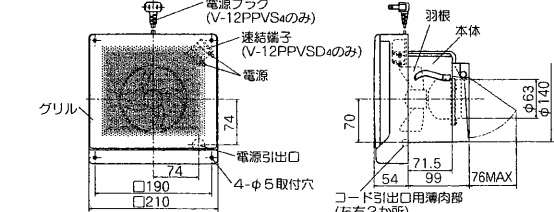
V-08ZSX4, (-BE), ZSXD4



V-08ZSYD4



V-12PPVS4, PPVSD4



接続パイプ径

タイプ	パイプ径
08タイプ	φ100
12タイプ	φ150

付属部品

タイプ	木ネジ
08タイプ	2本
12タイプ	4本

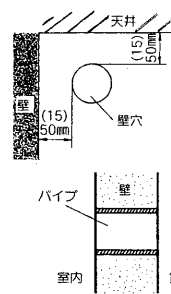
取付方法

1.取付前の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

- 取付け場所を決めて壁穴を開ける。
 - パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）管と厚肉（VP）管および銅板管があります。壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - ※（ ）内はV-08ZSYD4を示す。
 - ※V-08ZSYD4の場合は左側に壁がくる際には壁より50mmのところに壁穴を開けてください。
- 壁穴にパイプを確実に固定する。パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
 - 固定が不十分だと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - パイプは室内壁面より出ないように差込みます。

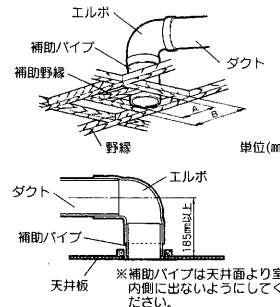


天井取付けの場合

野縁工事とダクト配管

- 右図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。

タイプ	A	B
08タイプ	□120	□180
12タイプ	□170	□230
- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
- エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。

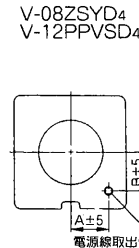
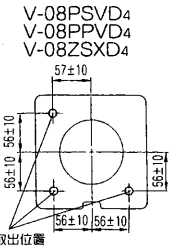


2.電気工事

電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。
●システム部材のスイッチを取付ける場合はシステム部材に同梱の取付説明書に従ってください。
●市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて接続してください。

速結端子タイプの場合

- 電源線を右図の位置から室内に引き込む。電源線はVVVFφ1.6、2芯をご使用ください。
- 電源線の先端を約14mm皮むきする。（V-12PPVSD4は約10mm皮むきする）



形名	A	B
V-08ZSYD4	70	30
V-12PPVSD4	74	74

電源プラグタイプの場合

- 内線規程に基づきコンセントを屋内の換気扇近傍に設ける。

- 警告 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因

- 注意 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
電気工事は必ず電気工事に依頼する
感電の原因

3.本体の取付け（壁取付け・天井取付けともに同様の取付け方です）

- グリルを本体からはずす。（V-12PPVSD4はグリル締付ネジをゆるめてから行ってください）
- 速結端子タイプは電源線を速結端子に差し込む。
 - 電源線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
 - 電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
 - 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。
- グリルを本体に取付ける。
 - グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
 - 電源プラグを左右から出す場合は薄肉部を切り欠きます。（V-12PPVSD4はワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締め付けます）
- 電源プラグタイプは電源プラグを専用のコンセント（単相100V）に差し込む。
- 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

速結端子タイプの電源接続方法

